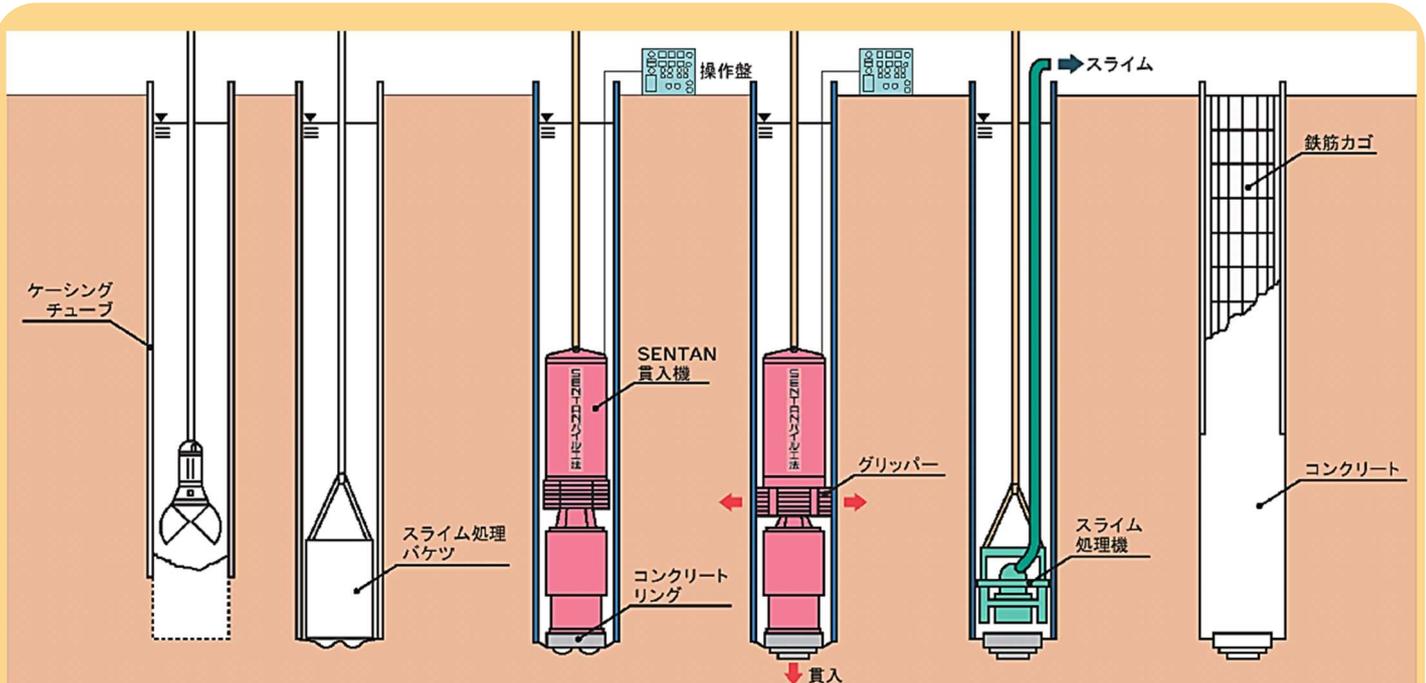


SENTANパイル工法

基礎・土構造研究室

- ◆ オールケーシング工法による場所打ち杭の先端支持力を強化可能です。
- ◆ モニタリング施工により、従来の場所打ち杭に対して信頼性の大幅な向上が可能です。
- ◆ 適用可能な杭径は、1000mmおよび1200mmです。

概要 杭先端に荷重履歴を与えることで、先端支持力性状を改善することができます。また、施工中における荷重と沈下量のモニタリングにより、改善状況を確認できます。これにより、従来の場所打ち杭に対して信頼性の大幅な向上が可能です（図1～図3）。



①掘削 ②一次スライム処理 ③SENTAN貫入機の吊り降ろし ④貫入作業 ⑤二次スライム処理 ⑥コンクリート打設

図1 施工手順

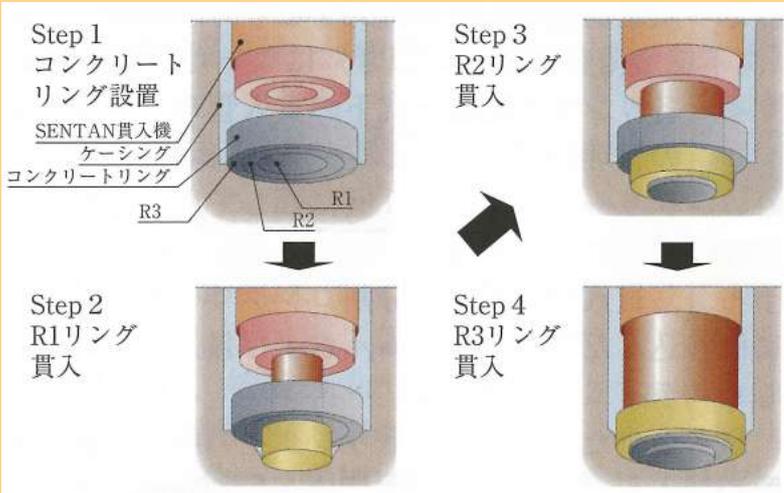


図2 リング貫入手順



図3 施工状況

※問合せ先:SENTANパイル工法協会 TEL:03-3260-5391 FAX:03-3266-8525